

第19回

吉祥寺

国際アニメーション映画祭



2/23 (金・祝) → 2/25 (日)



武蔵野公会堂 武蔵野市吉祥寺南町 1-6-22 (吉祥寺駅より徒歩2分)

入場料
無料

2/23 (金・祝)

1Fパープルホール

宮崎アニメの原点と「動き」の魅力

宮崎駿監督劇場第一作「ルパン三世 カリオストロの城」と宮崎監督に強力な影響を与えたポール・グリモー監督「王と鳥」との二作の上映と、ゴールデン・グローブ賞を受賞した宮崎駿監督最新作「君たちはどう生きるか」を手掛けた作画陣をお迎えしたトークショーを開催。

プログラム A:

『ルパン三世 カリオストロの城』上映会

12:30 開場 13:30 上映開始

人数制限による
チケット制



原作: モンキー・パッチ ©TMS

プログラム B:

『王と鳥』上映会

16:00 開場 16:30 上映開始



©1980 LES FILMS PAUL GRIMAUD-STUDIOCANAL IMAGE-FRANCE

スペシャルトークショー

『アニメーションに生命を吹き込む人たち』

トークショー 18:15 開始

竹熊健太郎氏、津堅信之氏、
ゲスト:

本田雄氏 (アニメーター『君たちはどう生きるか』作画監督)、
井上俊之氏 (アニメーター『君たちはどう生きるか』

『THE FIRST SLUM DUNK』
『シン・エヴァンゲリオン劇場版』など)

スペシャルゲスト:

島本須美氏 (声優『カリオストロの城』クラリス役など)



人数制限による
チケット制



スペシャルゲスト: 島本須美氏

2/24 (土)

1Fパープルホール

『ポプテピピック』&青木純の世界

本映画祭最初期のグランプリはじめ賞レース常連だった青木純氏作品特集。

プログラム A:

青木純監督作品特集

13:00 開場 13:30~14:30

第2回審査員特別賞「おしるこ」第3回ギャグアニメ部門グランプリ「将棋アワー」からNHK みんなのうた5本を含む商業短編アニメ、本映画祭がプレミア上映となる最新作「カンフルキッズソング」2本までを一挙上映



「ポプテピピック」の大川なくる、竹書房・キングレコード

プログラム B:

『ポプテピピック』傑作選

15:00~16:00

プログラム C:

青木純監督トークショー

16:30~18:00

青木純氏、植草航氏 (イラストレーター、
アニメーション作家 / 第7回グランプリ受賞作家)

人数制限による
チケット制



2F 特別会議室 13:00~16:00

ワークショップ「ネコを動かしてニャニメーションを作ろう！」

所要時間約50分、各回先着8名 (付き添い可)

13:00, 14:00, 15:00 の3回開催。

by フリッカ

2/25 (日)

吉祥寺アニメーション映画祭 本選 表彰式

14:30 開場 15:00 上映開始 17:00 表彰式

今年は応募総数65作品の中から14作品がノミネート。

竹熊健太郎審査委員長の他、吉祥寺周辺のアニメ制作会社が審査。

今年はゲストに片瀬須直氏も!

審査員: 竹熊健太郎氏、津堅信之氏、青木純氏、白石慶子氏、中村誠氏、ゲスト審査員: 森本晃司氏
ゲスト: 片瀬須直氏 (『この世界の片隅に』『マイマイ新子と千年の魔法』『アリーテ姫』)

審査協力:

STUDIO 4℃ Coamix Inc. KINGレコード PRODUCTION IG 三鷹の森ジブリ美術館

詳しくは、吉祥寺国際アニメーション映画祭公式サイトにて



主催 吉祥寺活性化協議会 / 吉祥寺国際アニメーション映画祭実行委員会

後援 武蔵野市、東京都、経済産業省関東経済産業局、コ・フェスタ2023 CoFesta

協賛 武蔵野商工会議所、武蔵野市商店会連合会、一般財団法人武蔵野市開発公社

協力

株式会社 NHK エンタープライズ、キングレコード株式会社、株式会社コアミックス、株式会社コントロール、株式会社スタジオジブリ、株式会社スタジオよんどしい、株式会社スペースネコカンパニー、株式会社トムス・エンタテインメント、日本動画協会、フランス大使館文化部 / アンスティチュ・フランセ、株式会社フリッカ、株式会社プロダクション・アイジー、三鷹の森ジブリ美術館 (五十音順)



2/25(日)

吉祥寺国際アニメーション映画祭



上映会ノミネート作品

GUEST



片瀬須直氏

1960年生まれ。日本大学芸術学部特任教授・上席研究員。大学在学中に『名探偵ホームズ』の脚本を手がけてから、今年で42年目。監督作はTVシリーズ『名犬ラッシー』（96）、長編『アリーテ姫』（01）、『この世界の片隅に』（16）、など多数。疫病の中に生きる千年前の人々を描く映画『つるばみ色のなぎ子たち』を現在制作中。



01 「A Shape of the Elephant」
Sam Kuwa



02 「Magnified City」
金子勲矩



03 「ピロピロプゥ」
松本伊代



04 「子猫の配達員うーにゃん」
佐藤広大



05 「田中くんと二階堂くん」
田邊啓



06 「ASAP HUMAN!!」
内海菜乃香



07 「520」
池辺凜



08 「ぼくが可愛い黒いもの」
新海大吾



09 「長期照願」
謝宗晏



10 「トモヤ!」
木原正夫



11 「マジムノクニ」
根間笑花



12 「来世ユニコーンの首筋後ろのホクロになりたい」
劉萬辰



13 「Midnight Special」
靦原武蔵



14 「月見ごっこ」
李淑芹

本映画祭の審査員のご紹介

審査委員長 竹熊 健太郎



1960年(昭和35)東京生まれ。電脳マヴォ編集長。多摩美術大学非常勤講師。相原コージと組んだ「サルでも描けるまんが教室」では、マンガを創作の視点から解き明かす。著書「私とハルマゲドン」ほか。主活動ジャンルは、マンガとアニメーションを中心としたサブカルチャー領域。現在は多摩美術大学共通教育で「漫画文化論」非常勤講師を務める。

アニメーション史研究家 津堅 信之



1968年兵庫県生まれ。アニメーション研究家。近畿大学農学部卒。著作は最新刊『日本アニメ史-手塚治虫、宮崎駿、庵野秀明、新海誠らの100年』(中公新書)をはじめ、『日本のアニメは何がすごいのか』『ディズニーを目指した男大川博』『新版 アニメーション学入門』『アニメ作家としての手塚治虫』など。

アニメーション監督 青木 純



1981年沖縄県生まれ。スペースネコカンパニー代表。TV番組やCM等のアニメーションを中心に活動。2018年にアニメ「ポテビビック」のシリーズ構成・シリーズディレクターとして商業TVアニメを初監督。本映画祭にて、2006年『おしるこ』で審査員特別賞、2007年『将棋アワー』でギャグアニメ部門グランプリを受賞。

アニメーション監督 白石 慶子



1985年 東京生まれ。東京藝術大学大学院映像研究科 アニメーション専攻 修了。株式会社サンライズ CGアニメーター勤務後、独立。劇場・TV・Netflixアニメオープニング・エンディングアニメーション監督。NHKみんなのうた「日々」、NHKヒバクシャからの手紙「ホウセンカおじいちゃん」アニメーション監督。

アニメーション監督 中村 誠



1970年埼玉生まれ。脚本家、アニメーション映画監督。ラジオドラマやアニメーションの脚本・演出・プロデュース・グラフィックデザイン等を手掛ける。2010年からはストップモーションアニメーションの作品を監督。「劇場版チェブラーシカ」「ちえりとチェリー」「20000907」等。現在は新作を準備中。

アニメーション監督 森本 晃司



「アニメトリックス」[EXTRA]「次元爆弾」GLAYや宇多田ヒカルのミュージッククリップなどを手掛けるアニメーション監督。2011年カンヌライオンズ銀賞、2013年カンヌ映画祭ワールドプレミアムを果たし、2020年には押井守監督との短編作品「コネクテッド」で話題を集めるなど世界を舞台に活躍。

審査参加スタジオ

街の映画祭である吉祥寺アニメーション映画祭は、地域に居をかまえるアニメ関連会社も審査に参画しているのが最大の特徴のひとつでもあります。吉祥寺という小さな地域から日夜作品を生み出し続ける錚々たる各スタジオ制作陣が審査員陣に名を連ねます。



吉祥寺国際アニメーション映画祭とは

2005年からスタートした武蔵野市・吉祥寺の街の映画祭。

吉祥寺在住だった編集家・竹熊健太郎氏の提唱により、アニメーション評論で活躍する氷川竜介氏、アニメーション史の研究者津堅信之氏を審査員陣に迎え、武蔵野市内のアニメ関連会社とともに、技術偏重に陥りがちな少数制作のアニメーション作品を、面白いものであれば積極的に評価を与えようとスタートしました。

近年は新進気鋭の才能を発掘し応援する、まさに吉祥寺の街にふさわしいアニメの祭典になり、今や国際的に評価されるクリエイターを輩出するまでにいたってまいりました。

1999年にスタートした「吉祥寺アニメワンダーランド」のイベントの一つとして、開催してまいりましたが、2021年度より本映画祭を街のイベントの大きな柱に育てることに注力し、作品の募集も海外から集まるようになり、昨年はグランプリも海外の作品になったことから、今年度より世界をターゲットとして発信していくため、名称を吉祥寺国際アニメーション映画祭としています。



2015年10月



2019年10月